

# 井出裕介 先輩

(第56代理事長 2011年度青少年開発委員会 委員長)

# 対

# WANPAKU

# 談

## 中島拓君

(2024年度青少年育成委員会 委員長)



### わんぱく相撲の歴史(力士輩出)について

中島 井出先輩今日は貴重なお時間を作って頂きありがとうございます。早速ですが色々インタビューしながら楽しく対談が出来ればと思います。まず、わんぱく相撲の歴史というところで、過去に富士場所から力士になった方っていらっしゃいますか？

井出 こちらこそ、今回現役メンバーと関わる事が出来て嬉しです。是非、この記事を読んだ卒業した方々が、わんぱく相撲にまた興味を持ってくれたり、大会当日遊びに来てくれたら良いですね！過去に富士場所から出た力士は2名います。幕下藤島部屋、富士の山(鈴木優斗さん)という力士と幕下藤島部屋、天道山(篠原大河さん)という力士が現在もプロの力士として活躍しております。

中島 井出先輩が現役の時にお目にかかれたのですか？

井出 はい、現役(委員長の時)の時に富士の山(鈴木優斗さん)が4年生で初めて参加し、体もかなり大きかった覚えがあります。県大会でも全勝優勝して全国大会にも出ております。天道山(篠原大河くん)は1年生の時から出ていて大きくなって強さは変わらずそのまま力士になりました。(※2012年に井出先輩が県大会の実行委員長だった時はチームを組み団体で全国優勝もしている)

中島 ありがとうございます！恐らく今のエピソードは現役メンバーの方の大半は知らないと思いますので大変貴重なお話を聞けて良かったです。

### 今でもわんぱく相撲に携わっている

中島 今現在も審判をやられていると思うのですが、元々相撲が好きだったのか、わんぱく相撲に携わって好きになっていったのか教えてください。

井出 元々、幼稚園くらいから大相撲を見るのが大好きで月刊相撲誌を買ったり好きで、いっしょに相撲の魅力を引き込まれていきました。大人になって家業を継ぎ富士青年会議所に入り、青少年の委員会に配属されて、相撲の経験はしていないが、知識としてのスキルがあったので任せられたりすることが多かった。毎年審判として携わらせて頂いてますが間近で子供たちの頑張っている姿を見て毎年、感動させて頂いております。

中島 まさにピタリの委員会ですね！私も入会してから4年目で配属委員会がずっと青少年に携わらせて頂いており、わんぱく相撲の魅力というものに引き込まれてきております。元々、相撲に対しては知識が無かったのですが、わんぱく相撲を通じて相撲の魅力に興味を持ち始めてきました！

### わんぱく相撲の良いところは？

中島 わんぱく相撲は対内的、対外的にみても素晴らしい事業だと思っております。井出先輩からみてわんぱく相撲の良い点を具体的に教えてください。

井出 わんぱく相撲って子供たちの純粋な気持ちをストレートに押見できる事業だと思っております。親御さんにも今まで子供が負けて悔しがるのを見てこなかったのにわんぱく相撲を通して普段見せない子供の姿が見れます。子供にも大人にも何か気づきを与えてくれる事業です。また勝ち負けが明確でその負けから悔しさが生まれ来年こそという闘争心が湧いてくる今現在の学校教育環境と違った経験が出来るのも1つの良さと感じております。

中島 (勇気) (礼節) (感謝) の学びの場としても兼ね備えているところもあり、わんぱく事業というものはこのような様々な成長できる要素が含まれているからこそ今まで長年続いてきているのかなと感じます。中島委員長の意見も聞きたいです。

中島 ありがとうございます。私が感じるわんぱく相撲の良さは「勝負が決まっていない」事です。小学生はまだ心技体が未熟なので同じ土俵の上で立てば勝負は分かりません。選手の一瞬にかける気持ちの強さを見る事が出来るのが子供にとっても大人にとってもわんぱく相撲の良さと感じます。

### 年度によってわんぱく事業の色が違う

(富士場所)

中島 年度によって相撲にプラスアルファ、事業がよりよくなる為の一工夫があるの思うのですが井出先輩の時はどのような工夫をされましたか？

井出 私の時(2011年第2回大会)は、大学生へボランティアスタッフのチラシを撒いて、協力スタッフとして募集し、実際に5名の大学生に来て頂きました。この時から会員減少に対して気にするようになっていて、未来に繋がるような新しい取り組みとして実施しました！また「ちゃんこ」を作る係としてメンバーの奥様達が設営に携わった過去もありました。毎年、事業の色が違ってこそわんぱく事業の楽しみでもあります。



### 今年のわんぱく相撲について

中島 まずはわんぱく相撲の「相撲をとる」という部分で円滑な運営をさせて頂きます。そして、今年は子供達に観客席の法面(斜め)になっている場所を土俵作りの一部として子供達に体験させる、学習体験、という形を一つとりまします。惜しくも負けてしまった子供達にも、もっと相撲を好きになつてもらいたいという想いから今回、工夫の一部として取り入れさせて頂いて頂いております。後は相撲場の南側のスペースでキッチンカーを誘致し、ちゃんこを食べるとい文化として、なぜちゃんこを食べるのかを教えたいという想いから取り入れさせて頂いております。

井出 今、中島委員長とこうやって話をしている、中島委員長のわんぱくに対する情熱が凄く伝わってきて、本当に嬉しいです。これだけ熱があれば委員会メンバーはじめ、全メンバーもきつとついてきてくれるので是非頑張ってください。



### わんぱく相撲は今までもこれからも

中島 本日、歴代青少年委員長一覧が書かれた紙を井出先輩に持ってきて頂きました。この表を見てみると第1回から第3回まで記載されている中で、ちょうど、第1回から第3回までの担当委員長の子供の世代、我々の世代がわんぱく相撲実行委員として引き継いでやっていますので、そういう引き継いでいるというの感慨深いと感じております。

井出 まずこの歴代の紙は第30回の際に記念してわんぱく相撲を携わった人と催しをやらうと考えていた時に作成させて頂きました。今、中島委員長が言っていた繋がりの部分ですが、本当にその通りで、当時(第1回から第3回)の委員長のご息子が何人も今現在、現役メンバーで活動、活躍しているというところで歴史が繋がって、やっつと世代が1周回ったのかなと思うと続けて良かったと改めて感じますね！中島 だからこそ、私たちの子供の世代まで続くように未来に繋いでいきたいと思っております。まずは今年、私は成功させて次年度にしっかりと繋いでいきます！